

令和4年7月20日  
兵庫県立湊川高等学校  
校長 前川 裕史

【校長だより】

**次の100年に向けて ～自立と貢献を目指して生徒とともに歩む～  
－湊川高校は2029年創立100周年を迎えます－**

一学期、皆様のおかげをもちまして終えることができました。平素は湊川高校の教育活動にご支援ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、この度、校長だよりを作成しました。湊川高校で頑張る生徒や教員の声をまとめました。

今後とも湊川高校にご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

**卓球部** 兵庫県定時制通信制高等学校総合体育大会神戸地区予選

男子の部 団体2位、個人4位、5位

女子の部 個人1位、2位

**卓球部キャプテン 3年 U 君の話**

－現在の部員は何人ですか。

**U君** 「男子5人、女子2人の計7人です。」

－県大会は惜しくも負けてしまいましたが、次の目標は。

**U君** 「10月に予定されている県大会に勝って、近畿大会に出場することです。」

－卓球部に入って、よかったことは何ですか。

**U君** 「1年で入部したときは自分一人しかいなかった。2年になって、顧問の先生が新1年生を勧誘してくれて部員が増えました。そして、顧問の先生が練習試合をたくさん組んでくれた。おかげで今、楽しく部活ができています。」

**新生徒会長 2年 S 君の話**

－生徒会長に立候補した理由は何ですか。

**S君** 「中学校の頃から生徒会をやりたかった。自分の自信になると思い立候補しました。」

－生徒会長としての抱負をどうぞ。

**S君** 「普段から友だちと一緒に楽しみたいから、楽しい学校が作りたいです。」

－湊川高校のよさは何でしょうか。

**S君** 「先生が生徒一人一人の意見をやさしく丁寧に聞いてくることです。支えてくれる友だち、先輩、先生がいることです。」

### 阪本先生の話

－阪本先生は初任で湊川高校に赴任され、今年で4年目。この度、7月14日から産休に入られます。振り返って、湊川高校のよさ、うれしかったことはなんですか。

**阪本先生** 「湊川高校のよさは生徒が少ないこともあり生徒と教師の距離が近いことです。生徒の顔と名前が全員わかります。生徒は様々な困難さや課題をもって、それでも頑張っで湊川高校に来っています。アルバイトしながら通っているのはえらいなと思います。」「私は赴任1年目に1年生担任、2年目に2年生担任、3年目に2年生の担任をしました。今年の3月に、最初に担任をした学年が卒業したのが印象に残っています。在校中はいろいろとお互いに大変でしたが、卒業式はみんな「先生、ありがとう」と言ってくれたことに感動しました。」

### 岩崎みのり先生の話

－岩崎みのり先生は湊川高校に赴任され、今年で9年目。この度、8月9日から産休に入られます。振り返って、湊川高校のよさ、うれしかったことはなんですか。

**岩崎先生** 「自分の視野が広がったこと。様々な背景をもった生徒がいることを知りました。中学の時は学校が嫌いで、学校に行ったことがない生徒が湊川高校に楽しんで来れるようになる。行事をやるごとに「来年もやろう」と言ってくれることがうれしかった。湊川高校のよさは生徒と教師の距離が近く、先生が生徒ととことんまでつきあうことだと思います。」

阪本先生、岩崎先生 無事にご出産されることを祈っています。また、元気な顔で湊川高校に戻ってきてください。

### 金先生の話

－1973年、湊川高校で朝鮮語の授業が始まりました。日本の公立高校で初めて朝鮮語が第二外国語として授業が行われました<sup>注</sup>。今年、朝鮮語の授業が始まって50年目を迎えます。現在、湊川で朝鮮語の授業を担当している気持ちを聞かせてください。

**金先生** 「伝統を守るというより、すそ野を広げるとい意識で朝鮮語の授業に取り組んでいます。生徒が楽しんで朝鮮語を学んで興味を持ってほしい。生徒が「第二外国語を学べて楽しい」と言ってくれとうれし、やる意義があると感じます。」

－金先生にとって、湊川高校のよさとは何ですか。

**金先生** 「他の学校ではやっていけない生徒でも、最後まで面倒を見て卒業まで寄り添っていけるところだと思います。」

参考文献 (注) 登尾 明彦「湊川、私の学校」1999年 草風館 192頁